

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		公表日				
SOUFIRST高原		R8年 5月 22日				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	広々としたメインルーム、おもちゃ部屋 お昼寝部屋、相談室兼静養室。場面に 応じて使い分けられる空間が整っている	・部屋数は多いは職員数の面から児童数が多い時に場所を分けられるような仕切りや 目張りなどが必要と感じる時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・専門職員も配置できていて充実している。 ・基準配置はもちろんのこと要対応児童が多い曜日は職員同士で声を掛け合いシフト調整をしている	子どもの状態や利用人数に応じたプランナー配置を行い、個別対応の充実を図ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・部屋は分かりやすく分けられていて部屋ごとに扉で分けられているため視覚的に理解しやすい環境設定となっている。 ・物の置き場所を決めることで、子ども達が遊ぶときや必要なものを取る時に出し入れしやすく、片付けやすくなるよう工夫している	環境整備を進め、可能な範囲でバリアフリー化の検討を行います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・活動の切り替え時には使っていたものを片付ける、を徹底しており、食事やおやつ、課題後には掃除機をかけるなど子どもたちが使うスペースは常に清潔に保てるよう職員間で心がけている。	清潔で快適な生活空間の維持と感染症対策を引き続き徹底します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・不安感の強い児童には相談室にきてもいいからねと声をかけて、環境調整を行っている。	個別対応が可能な環境を整え、安心して過ごせる体制を維持します。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・朝礼時に子どもたちの様子や個別計画に沿った支援やその振り返りを行っている。	プランナー全体でPDCAサイクルを意識し、業務改善に取り組みます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・毎月アンケートも行き、良い意見悪い意見も取り入れ改善を図っている。	・毎月保護者アンケートを実施しているが経営陣が回答を確認するため、保護者様の意見を職員も把握しやすかったら良いと思う。適宜ご意見は頂いて改善に努めている
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・毎朝朝礼で確認している。新入社員にはメンター制度等もあり意見をしやすい環境が整っている。	・多々アンケートがあるが職員の声を拾って改善に対して動いているのか、アンケート後の動きや結果の詳細等わかると嬉しい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		・第三者による外部評価がどのような形で行われているのか把握できていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	3	・自分のペースでできるオンライン研修がある。対面研修もあるとより職員の資質向上に繋がると思う。	研修や自己学習の機会を確保し、専門性向上を図ります。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		支援プログラムの作成・公表を継続し、プランナー間の共有を徹底します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	児発管や専門職、児童指導員など、全職員でひとりひとりの児童の様子や発達特性成長していることを話し合う時間を設け児童発達支援計画作成時に反映している	適切なアセスメントを行い、ニーズに基づいた計画作成を行います。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・職員からも意見を取り入れて計画を作成している。	プランナー間での共通理解を深め、最善の利益を重視した支援を行います。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		計画に基づいた支援の実施と情報共有を徹底します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		日々の観察と評価を継続し、支援の質向上につなげます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		ガイドラインに沿った支援内容の設定を継続します。

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	職員で話し合い設定している。	チームでの活動立案を継続します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・活動が曜日固定ではなく、どの曜日に利用しても偏らないような工夫を行っている。 また、季節に合わせた行事や、事業所ならではの活動を行なって、子どもたちの豊かな体験になるよう意識している。	多様な活動を提供し、固定化防止に努めます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・専門支援の部分は個別で行ったり児童にあわせて対応している。	個別活動と集団活動を適切に組み合わせます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼で子どもたちの様子や情報交換を行なっている。	事前打ち合わせを徹底し、チーム支援を強化します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	・気付いたことや気になった点はその日のうちに確認し、その後の児童への関わりや支援に活かしている。	課題後は送迎やその他準備でバタバタしていて終礼まで行う余裕がない現状。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	サービス提供記録にて記録している。 課題時に詳細な記録が取れるよう役割分担を行い、記録をとる職員を設定している。	記録の徹底と検証を継続します。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	児童発達支援管理責任者を中心に定期的に行っている。	定期的なモニタリングと計画見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児発管が、参加している。状況に応じて児童指導員の方も同席していただいている。	開催の場、主に児発管が参加しており、継続します
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・送迎の児童は、先生とその都度顔を合わせて情報共有や支援の連携を行っている。	医療・福祉・教育機関との連携を強化できるよう体制を整えられるよう努めます
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		関係機関との会議に適切なプランナーが参加し、情報共有を図ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		ご希望に応じて連携いたします
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5		他のSOUラボでは、イベントを開催できている地域もあるので、ノウハウを学び、今後取り入れていきたい。地域交流の機会について検討を進めます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		保護者との情報共有を継続し、共通理解を深めます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・その日の様子や成長した点など、保護者に丁寧に伝えるように意識している。 ・家族支援も計画的に行っている。	家族支援の充実と情報提供を行います。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		・次年度は年4回の保護者会を計画しその中に保護者向けの研修会も組み込む予定	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	・契約の際に説明している	利用時の丁寧な説明を継続します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		お子様や保護者様の意向を尊重した支援を行います。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		支援内容の説明と同意取得を徹底します。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・家族支援を密に行っている	相談支援と助言の充実に努めます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	・保護者会を今年度初めて実施した。回数はまだ少ないが今後交流できる場が作れたらと思う。	・次年度は年4回の保護者会を計画し年間計画として組み込む予定
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1		苦情対応体制を維持し、迅速な対応を行います。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月活動ニュース冊子を発行したりSNSで活動の様子を投稿している。	SNSや通信等による情報発信を継続します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		個人情報管理を徹底します。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		分かりやすい言葉や方法を用いた意思疎通に努めます。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・外部機関や社会資源となる施設や事業とのコラボイベントは多々実施している	・地域住民を巻き込んだイベントをSF高原として開催はまだしたことない今後企画していきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	4	・各マニュアルを常備しており、事業所ではすぐに見られる場所に保管している。	・マニュアルを保護者の方と共有する方法は課題かと思っている。手に取れるように玄関に配置する等工夫が必要。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	・避難訓練は年二回計画的に取り組んでいる。	・訓練は行っているが、災害時バッグの準備・避難時のルート設定・保護者の方への避難時場所の共有等もう少し見直す必要がある
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	2		・予防接種履歴等は確認できていないのでアセスメント時に必要な情報は聞き取っていきたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	・アレルギーについては確認しているが医師の指示書という場合だと引かかる。	アレルギー対応の徹底を図ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2	委員会を設置し、定期的に研修を行なっている。	安全管理に関する研修と体制整備を継続します。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	6		安全計画の周知と保護者連携を強化します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	2		ヒヤリハットの共有と再発防止を徹底します。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	虐待防止、身体拘束適正化研修は必ず行っており、研修記録も残っています。	虐待防止研修と意識向上を継続します。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	契約時に説明し、同意を得ています。	身体拘束に関する説明・同意・適切な対応を徹底します。